2027 年 4 月入学

広島大学大学院教育人文社会科学研究科（博士課程前期）

学生募集要項

人文社会科学専攻

人間総合科学プログラム

◆一　般　選　抜
◆社会人特別選抜
◆フェニックス特別選抜

2026 年 10 月

広島大学

目　　次

アドミッション・ポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
広島大学志願者への入学検定料の免除措置について　・・・・・・・・・・　4

１．募集人員及び試験場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
２．入試日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
３．出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
４．注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
５．出願資格事前審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
６．出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
７．入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
８．合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
９．入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
１０．教育方法の特例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
１１．長期履修制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
１２．出願に伴う個人情報の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
１３．学生宿舎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
１４．教員免許状の取得について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
１５．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

出願・照会先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
令和９年度広島大学大学院教育人文社会科学研究科学生募集に伴う
試験成績（個人情報）の開示について・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
指導教員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

教育人文社会科学研究科アドミッション・ポリシー

【博士課程前期】
教育人文社会科学研究科では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。
① 幅広い教養とともに，人文科学，社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
② 幅広い教養とともに，人文科学，社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

教育人文社会科学研究科は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

【博士課程前期】
人文社会科学専攻では，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。
① 幅広い教養とともに，人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
② 幅広い教養とともに，人文科学や社会科学，及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，現在の人類社会が抱える課題，あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより，多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻は，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

人間総合科学プログラムアドミッション・ポリシー

【博士課程前期】
人間総合科学プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。
①文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず，新しい学問に触れ，かつ新しい知の領域を創造したいと思う人
② 輻輳する現実社会を直視し，そこから自分で独自の課題を発見し，その背景を理解するとともに課題解決の道を明らかにしたいと思う人
③国，地域，社会等の枠を超え，異文化や他者に寛容な姿勢を持ち，自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人

人間総合科学プログラムは，これらの人を受け入れるため，そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

広島大学志願者への入学検定料の免除措置について

広島大学では，被災者の経済的負担を軽減し，志願者の進学機会の確保を図るため，2026年度に実施する本学の入学者選抜において，入学検定料の免除措置を実施することとしましたので，お知らせします。

入学検定料の免除を希望される方は，出願前に「１　募集人員及び試験場」の「出願・照会先」に必ずご連絡ください。

1 免除措置の対象となる入学者選抜

2025年度に実施する大学院入試（再入学，転学及び編入学に係る選考を含みます。）

2 措置内容

入学検定料の免除

※入学試験成績の開示に係る手数料も，免除の対象となります。

3 免除の対象となる災害

2019年8月28日以降に災害救助法の適用を受けた災害

※入学検定料の免除の対象となる入学者選抜は，当該災害救助法適用日から5年を経過する日までの間に出願期間の最終日が設定されているものに限ります。

4 免除の対象者

「3 免除の対象となる災害」において災害救助法が適用されている地域(注)で被災した志願者で，次のいずれかに該当する方

(1) 主たる学資負担者が居住する自宅家屋が全壊，大規模半壊又は半壊した場合

(2) 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合

(注) 災害救助法適用地域等は，次の内閣府ホームページでご確認いただけます。

http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html

5 申請方法

事前に「１　募集人員及び試験場」の「出願・照会先」に連絡した後，所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお，この場合は，出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

6 申請書類

(1) 検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロード）

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/news/1058

(2) り災証明書（写し可）（上記4の(1)に該当する方）

(3) 死亡又は行方不明を証明する書類（写し可）（上記4の(2)に該当する方）

7 インターネット出願における入学検定料免除特例措置の手続方法

本学ホームページ掲載のPDFファイルを参照してください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/239967/menjo_2024.pdf

8 問い合わせ先

「１　募集人員及び試験場」の「出願・照会先」をご覧ください。

２０２７年４月に本学大学院教育人文社会科学研究科（博士課程前期）人文社会科学専攻人間総合科学プログラムに入学する学生を次のとおり募集します。

１　募集人員及び試験場

２０２７年４月入学生

プログラム	選抜区分	募集人員	試験場 出願・照会先
人間総合科学プログラム	一般選抜	若干名	東広島キャンパス 広島大学総合科学部講義棟 広島大学総合科学系支援室 〒739-8521　東広島市鏡山一丁目７番１号 TEL：082-424-6317
	社会人特別選抜		
	フェニックス特別選抜		

２　入試日程

一　般　選　抜

期　　日	試　験　区　分	時　　間
2027年2月11日（木）	口　述　試　験 （１人当たり概ね４０分）	９：００～

社会人特別選抜　**フェニックス特別選抜**

期　　日	試　験　区　分	時　　間
2027年2月11日（木）	口　述　試　験 （１人当たり概ね３０分）	９：００～

(注意) 志願者は，必ず出願前に，志望する主指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。

志願者が指導を希望する指導教員と連絡がとれない場合には，総合科学系支援室（大学院課程担当）に連絡してください。(16ページ参照)。

なお，原則として，入学した課程の標準修業年限を過ぎる前に退職予定の教員を主指導教員にすることはできません。また，長期履修を予定している場合には，志望する主指導教員にあらかじめ相談をしておいてください。

募集する指導教員が異動等により変更になることがあります。その場合には，人間社会科学研究科ホームページに掲載しますので，相談前にあらかじめ確認しておいてください。

３　出願資格

各選抜の出願資格は，次のとおりです。

一般選抜	出願資格(9)，(10)及び(11)により出願しようとする者は，出願資格の審査を行いますので「５　出願資格事前審査」の項を参照してください。

次の各号のいずれかに該当する者，あるいは入学日までに該当する見込みの者

(1) 日本の大学を卒業した者

(2) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号。以下「法」という。）第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(3) 外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年２月７日文部省告示第５号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令，独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等）

(9) 法第１０２条第２項の規定により大学院に入学した者であって，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
（他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合）

(10) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって，２２歳に達したもの

(11) 大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

社会人 特別選抜	出願資格(9) 及び(10)により出願しようとする者は，出願資格の審査を行いますので「５　出願資格事前審査」の項を参照してください。

本研究科入学時において，２年以上の職歴若しくはその他の社会経験を有する者で，次のいずれかに該当する者，あるいは入学日までに該当する見込みの者

(1) 日本の大学を卒業した者

(2) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号。以下「法」という。）第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(3) 外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定

するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年２月７日文部省告示第５号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令，独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等）

(9) 法第１０２条第２項の規定により大学院に入学した者であって，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
（他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合）

(10) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって，２４歳に達したもの

フェニックス特別選抜	出願資格(9)，(10)及び(11)により出願しようとする者は，出願資格の審査を行いますので「５ 出願資格事前審査」の項を参照してください。

学位取得を目指し，入学日現在満５５歳以上の者で，次のいずれかに該当する者，あるいは入学日までに該当する見込みの者

(1) 日本の大学を卒業した者

(2) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号。以下「法」という。）第１０４条第７項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(3) 外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

(5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年２月７日文部省告示第５号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令，独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等）

(9) 法第１０２条第２項の規定により大学院に入学した者であって，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
（他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合）

(10) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって，５５歳に達したもの

(11) 大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

４　注意事項

(1) 志願者は，担当教員一覧表又は本研究科ホームページを参照し，応募する前に希望する担当教員に E-Mail か電話その他で連絡の上，希望研究内容等について相談してください。ただし，事前相談はあくまでも本研究科からの情報提供という性格のものであり，これが選考過程に影響することはありません。

ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs

(2) 広島大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

(3) 不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室が指示され，それ以後の受験はできなくなります。なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

５　出願資格事前審査

一般選抜，社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜の出願資格事前審査対象者は，次の書類を2026年11月30日（月）から12月11日（金）１７時まで（必着）に願書受付場所（６ 出願手続　１．出願方法(３)参照）に提出し，指示を受けてください。郵送の場合は書留郵便とし，封筒表面に「人間社会科学研究科出願資格事前審査申請書在中」と朱書してください。

認定審査の結果は，2026年12月25日（金）までに本人あて通知します。

(1)　出願資格(9)により出願しようとする者
① 出願資格事前審査申請書（用紙は願書受付場所に請求してください。）
② 大学院の在学証明書又は修了証明書
③ 在学していた大学の成績証明書
④ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形３号に１１０円分の切手を貼ったもの。）

(2)　出願資格(10) により出願しようとする者（短期大学，高等専門学校，各種学校等の卒業者やその他の教育施設の修了者が該当します。）
① 出願資格事前審査申請書（用紙は願書受付場所に請求してください。）
② 最終学歴証明書※
③ 最終学歴の成績証明書，又はこれに準ずるもの
④ 各種資格試験の合格通知書・資格の内容を説明する書類，論文・レポート，その他の業績，又はこれに代わるもの
⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形３号に１１０円分の切手を貼ったもの。）

※最終学歴証明書について

中国(台湾，香港，マカオを除く)の大学の卒業者は，“毕业证书”の本紙又は原本証明された写しを提出してください。併せて，中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询　http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp) により学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）の書類を取得し，提出してください。なお，発行手数料は志願者負担となります。学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）は，Web 認証が２０２６年１２月２５日（金）時点で有効であることを確認してください。

(3)　出願資格(11) により出願しようとする者（大学２年次までの修得単位が１００単位以上で，その成績の９割以上を「優」以上の評価で取得した者が該当します。）※社会人特別選抜を除く。
① 出願資格事前審査申請書（用紙は願書受付場所に請求してください。）
② 成績証明書又は単位修得見込証明書
③ 指導教員又はこれに準ずる者の推薦書

（当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの。）

④ 在学する大学・学部の履修基準，授業科目一覧表等

⑤ 本人の住所氏名を明記した封筒（長形３号に１１０円分の切手を貼ったもの。）

上記⑶の該当者として入学した場合，大学に３年以上在学し早期卒業しない者は，学部学生としての学籍上の取扱いは退学となります。

従って，各種国家試験等の受験資格で，大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がなくなりますので，十分注意してください。

６　出願手続

１．出願方法

出願者は，志望する指導教員に事前に了解を得た上，以下の方法により，出願してください。

インターネット出願

① インターネットにより，志望情報等を入力する。

② 入学検定料30,000円を支払う。

③ 出願書類を持参又は郵送する。

（注意）インターネット出願は，インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途，出願書類等が所定の期日までに到着するように持参又は郵送する必要があります。

（1）出願期間

上記１．出願方法　の①，②，③の全てを期間内に終える必要があります。

2027年1月5日（火）から2027年1月13日（水）17：00まで（必着）

（2）インターネット出願

◆インターネット出願システム・**UCARO** に関するお問い合わせ先

ヘルプデスク（日本語対応のみ）

受付時間：10:00 から 18:00 まで

（12 月 30 日～1 月 3 日を除く）

電話番号：　03-6634-6494

※日本国外及び IP 電話からもご利用いただけます。

○入試に関する不明点等は，総合科学系支援室（教育人文社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）に問い合わせてください。

受付時間 8:30 から 17:00 まで（土日祝日，夏季休業（8 月 13 日～8 月 16 日）及び年末年始（12 月 28 日～1 月 5 日）を除く）

出願期間内に，次の 8 つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi

Step 2: UCARO ログイン画面から「**UCARO** 会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。

UCARO については，以下の URL を参照してください。
https://www.ucaro.net/

Step 3: （入学検定料が免除される出願のみ該当）アカウントを入力

（必要な入試区分のみ該当）本研究科から通知する 8 桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って，氏名，住所，電話番号，メールアドレス等を入力してください。

※入力いただいた個人情報は，入学試験の実施及び選考，合格の通知及び発送，入学手続書類の送付，入学前後の案内の送付，入試統計データの作成，学生証の作成，学籍データの作成，入学検定料の収納等で利用しますので，正確な情報を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。
郵送での提出はできません。

※出願時にアップロードされた写真は，受験時の本人確認のため使用するほか，入学後の学生証及び本学の教務システムでも卒業（修了）まで使用します。
このため，入学後にも使用可能な写真のアップロードを推奨します。
なお，写真アップロード後の差し替えはできません。
入学後に学生証の内容(写真や姓名の表記)を変更する場合は，1,000 円の手数料が必要です。

Step 6: 入学検定料（30,000 円）の支払い

入学検定料を納入する方法を次の①又は②の中から選択し，「決済サイトに進む」をクリックしてください。

①クレジットカード
②コンビニエンスストア，金融機関 ATM【Pay-easy】，ネットバンキング

(注)
・入学検定料の他に，１回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料は，志願者負担となります（インターネット出願システム手数料の金額は出願時に表示されます。）。
・出願受付後はいかなる理由があっても，既納の入学検定料は返還しません。
なお，次の(1)，(2)の場合は，既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので，「出願番号」，「ふりがな」，「氏名」，「電話番号」，「住所」，「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印（又は署名）の上，2027 年 2 月 26 日（金）までに Step 8 の送付先に郵送してください。ただし，いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
(1) 出願書類を提出しなかった，又は受付されなかった場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号（6 桁）が表示されるので，メモしておいてください。（登録されたメールアドレスに自動送信される「出願登録完了のお知らせ」メールにも出願番号が記載されていますので，そちらでも確認可能です。）

Step 8: 出願書類の郵送

日本国内からの出願の場合は，市販の角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を用意し，必要書類をすべて封入の上，出願期間内に到着するよう，**書留・速達**郵便で，以下の住所宛郵送してください（日本国内からの郵送に限り，1 月 11 日消印有効）。

日本国外からの出願の場合は，A4 サイズの書類が入る封筒（横 24cm×縦 33.2cm 程度）を用いて，EMS（Express Mail Service）等の最速の国際郵便で郵送してください。

（3）出願書類の提出先

（教育人文社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）

〒７３９－８５２１

広島県東広島市鏡山一丁目７番１号

広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当）（Tel 082-424-6317,6316）

（4）その他

【注 1】出願書類受理後は，記載内容の変更は一切認めません。

【注 2】出願書類は返還しません。

【注 3】合格後あるいは入学後，提出書類に虚偽の記載や詐称があること等の不正行為が判明した場合，合格・入学を取り消します。この場合，既納の入学検定料，入学料，及び授業料等は返還しません。

【注 4】卒業見込みで出願して合格した者が，入学日までに卒業できなかった場合，入学資格がないものとみなされます。

【注 5】気象等の影響で試験日時を変更する場合は，ホームページで発表します。

２．出願書類等

ア	履　　歴　　書	交付の用紙を使用してください。
イ	成　績　証　明　書	出身大学（学部）長，短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの。必ず原本か，原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。
ウ	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長，短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの。必ず原本か，原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。 卒業者の場合，学位情報が記載されていることを確認してください。 **中国（台湾，香港，マカオを除く）の大学**を卒業(見込み)の方は，中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询　http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp) により以下の書類を取得し，併せて提出してください。 ・卒業者…学歴証書電子登録票 (教育部学历证书电子注册备案表) ・卒業見込み者…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) これらの書類は，2026 年 12 月 25 日（金）時点で有効であることを確認してください。なお，発行手数料は志願者負担となります。 また，卒業者は，“毕业证书”及び“学士学位证书”の本紙又は原本証明された写しを卒業証明書に加えて提出してください。 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方は，同機構が発行する「学士の学位授与証明書」の原本又は原本証明された写しを併せて提出してください。また，同機構に学士の学位授与申請をする予定の方は，短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学士授与申請（予定）証明書」の原本又は原本証明された写しを提出してください。

エ	卒　業　論　文	卒業論文を提出してください。 日本語，英語以外の言語の場合は，日本語又は英語で作成した論文概要（書式，字数は任意）を添付してください。 卒業見込みの者で卒業論文を作成中の場合は，交付の用紙を使用し，卒業論文概要を２，０００字程度で記載してください。 卒業論文又は卒業論文概要を提出できない場合には，研究能力を証明する研究論文等を提出してください。 いずれも提出できない場合は，オを参照してください。
オ	研　究　計　画　書	一般選抜で受験する場合に提出してください。 交付の用紙を使用し，従来の研究内容及び大学院入学後の研究計画を２，０００字程度で記載してください。 なお，エを提出できない場合は，その理由も記載してください。
	志　望　理　由　書	社会人特別選抜，フェニックス特別選抜で受験する場合に提出してください。 交付の用紙を使用し，２，０００字程度で記載してください。 なお，エを提出できない場合は，その理由も記載してください。
カ	共　通　課　題	一般選抜で受験する場合に提出してください。 交付の用紙を使用し，現代社会の課題は何か，及び，それを解決するための学際的・総合的研究をどのように構想するかについて，オで記載した研究計画と関連させて専門外の人にもわかるように，１，５００字程度で記載してください。 なお，社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜で受験する場合は，提出不要です。
キ	英語能力検定試験又は日本語能力検定試験のスコア証明書等	一般選抜で受験する場合に提出してください。 １～６いずれかの英語能力検定試験又は７の日本語能力検定試験のスコア証明書等の原本又は写しを提出してください。スコア証明書等の原本を提出された場合は，後日返却します。 2023 年４月１日以降に受験したものに限ります。ただし，英語で学士の学位を取得又は取得見込みであれば，英語能力検定試験のスコア証明書の提出は不要です。また，７．日本語能力検定試験のスコア証明書を提出する場合，日本語で学士の学位を取得又は取得見込みであれば，日本語能力試験１級（N1）の提出は不要です。 １．TOEIC®公開テスト又は TOEIC®団体特別受験制度（IP テスト） ２．TOEFL® - PBT ３．TOEFL® - iBT ４．IELTS ５．ケンブリッジ英語検定 ６．実用英語技能検定 ７．日本語能力試験１級（N1）（日本語を母語としない者のみ利用可） なお，TOEIC®-IP（オンライン方式）は，英語外部試験の対象としません。 また，英語・日本語以外の外国語の検定試験を受験している場合には，１～７いずれかのスコア証明書等に加えて，当該外国語の検定試験のスコア証明書等を提出することができます。どの外国語で受験するか，志望する指導教員と相談した上で提出してください。

		社会人特別選抜及びフェニックス特別選抜で受験する場合は，提出不要です。
ク	入学試験出願資格審査合格通知書	本学が発行したもの。 **（出願資格事前審査を受けた者のみ提出してください。）**
ケ	返信用定形封筒	定形封筒（長形３号）に，本人の住所氏名を明記し，１１０円分の切手を貼ったもの。
コ	在留カードの写し	日本在住の外国籍の志願者のみ提出してください。 裏面に住所が記載されている場合は，両面をコピーしてください。

備考：１．提出書類については，日本語，英語以外の言語で作成されたものは，原本と英語又は日本語で訳したもの両方を提出してください。

２．前号**イ，ウ**の書類を提出できない特別の事情がある場合は，これに代わる適当な書類を提出してください。

３．出願資格(9)，(10)，(11)により出願する者は，前号**イ，ウ**を提出する必要はありません。

４．外国人の社会人特別選抜又はフェニックス特別選抜の志願者で，TOEFL®，TOEIC®等の英語検定試験又は日本語能力試験を受験している場合は，その成績証明書を併せて提出してください。

３．受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を願書受付場所（６ 出願手続 １．出願方法(３)参照）に提出し，相談してください。

ア．相談の時期　　2026 年 12 月 25 日（金）まで

イ．申請書の記載内容

① 志願者の氏名，住所（連絡先電話番号も記載してください。）
② 出身大学名及び志望する指導教員名
③ 障害等の種類・程度（障害者手帳のコピー又は医師の診断書を添付してください。）
④ 受験上の配慮を希望する事項
⑤ 修学上の配慮を希望する事項
⑥ 出身大学等でとられていた特別措置
⑦ 日常生活の状況

４．受験票等の発送について

受験票及び受験者心得については 2027 年１月 29 日（金）までに発送します。2027 年２月１日（月）を過ぎても到着しない場合は，出願・照会先へ連絡してください。

７　入学者選抜方法

一　般　選　抜

学力検査（口述試験，外国語能力），成績証明書，卒業論文等，研究計画書及び共通課題を総合評価して選考します。

(1) 口述試験（配点　３００点）

詳細については，試験当日指示します。

口述試験では，大学院入学への動機と意欲，研究の基礎知識等を段階評価します。外国語能力について問う場合もあります。

(2) 外国語能力（配点　１００点）

英語能力検定試験又は日本語能力検定試験のスコア証明書等を利用します。

社会人特別選抜　フェニックス特別選抜

学力検査（口述試験），成績証明書，卒業論文等及び志望理由書を総合評価して選考します。

口述試験

詳細については，試験当日指示します。

口述試験では，大学院入学への動機と意欲，研究の基礎知識等を段階評価します。

8　合格者発表

2027年2月26日（金）１２時の予定

試験場に掲示するとともに合格者に通知します。なお，電話等による照会には応じません。

また，下記人間社会科学研究科ホームページにおいても2027年2月26日(金)12時から3月4日(木)12時まで合格者の受験番号を掲載します。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs

9　入学手続

（1）入学手続期間

2027年2月下旬～3月上旬の指定する期間に入学手続を行うことになりますが，詳細については別途お知らせします。

（2）納付金

入学料　　２８２，０００円

授業料（年額）　５３５，８００円（前期分２６７，９００円）

【注1】既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

【注2】上記記載の金額は2026年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には，改定後の納付金を納入することになります。

【注3】納付金の額及び具体的な納付方法等の詳細については，別途お知らせします。

（3）提出書類

入学届，誓約書，学生情報登録シート，写真票，卒業証明書及び学業成績証明書（卒業見込みで受験した者のみ），公務員その他民間会社等に在職のまま入学する者は所属長の承諾書などです。

こども性暴力防止法に関する留意事項及び同意について

「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」により，教員免許の資格取得に必要な教育実習・介護等体験，インターンシップ，ボランティア活動等に参加する学生は，性犯罪前科の有無の確認が求められる場合があります。

本学では，上記制度の趣旨に鑑み，入学に際し，関連事項についてあらかじめ同意を得ることとしています。留意事項及び同意に関する詳細については，次のホームページを参照してください。

https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/koseibouhou.html

10　教育方法の特例

入学後も社会人として在職のまま修学する者に対しては，社会人としての職務の遂行と本研究科での履修の両立ができるように，大学院設置基準第１４条の特例に基づく制度を設けています。

本研究科での特例措置による履修方法は，一部の授業科目について，夜間，土曜日，夏季・冬季休業期間等に行うほか，情報ネットワーク等を利用することにより履修を認めるものです。履修計画については，指導教員の指導のもとに作成することになります。

11　長期履修学生制度

次のいずれかに該当する者を対象として，標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

① 職業を有し，かつ，就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で，学修時間の確保が著しく困難である者
② 家庭において家事，育児及び介護を行う者で，学修時間の確保が著しく困難である者
③ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は，標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

12　出願に伴う個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別，その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は，学生支援関係（奨学金申請，授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。また，合格者の英語能力検定試験のスコア証明書等は，入学者の入学後の外国語能力向上を測定するための基礎資料として利用します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

なお，個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，コンピュータ処理をするため，関連業務を外部の事業者に委託することがあります。

13　学生宿舎

学生宿舎の入居者募集については，学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo

学生宿舎についての問合せ先：広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（TEL：082-424-6146）

14　教員免許状の取得について

第一種免許状を有していない者が，大学院に入学後，第一種免許状の取得を希望する場合は，以下の出願・照会先に問い合わせてください。

15　その他

広島大学は，　2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

出願・照会先

受験について不明な点があれば，下記へ問い合わせてください。

(教育人文社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)

〒７３９－８５２１

広島県東広島市鏡山一丁目７番１号

広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当）(Tel 082-424-6317,6316)

E-mail souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

（1）電話番号については，市外局番が同じ地域がありますが，東広島市以外の地域については，市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。

（2）気象等の影響で試験日時を変更する場合は，人間社会科学研究科ホームページで発表します。 ホームページアドレス https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs

令和９年度広島大学大学院教育人文社会科学研究科学生募集に伴う
試験成績（個人情報）の開示について

１．下表に示す，個人に関する入試情報（以下「個人情報」という。）は，令和９年度広島大学大学院教育人文社会科学研究科学生募集に伴う本学の一般選抜，推薦入学又は特別選抜を受験した者（以下「開示申請者」という。）に限り開示します。

項　　目	開　　示　　内　　容
試 験 成 績	得点　試験科目別得点 評価　各試験科目等の評価（段階区分評価を含む。）

２．試験成績（個人情報）の開示に関する手続の流れは次のとおりです。

(1) 入試情報開示申請書を次のいずれかの方法で入手してください。

① 窓口で請求してください。

② 返信用封筒（本人の住所・氏名を明記し，110 円分の切手を貼った定形封筒（長形３号（12 ㎝×23.5 ㎝））を同封し，「広島大学大学院教育人文社会科学研究科入試情報開示申請書請求」と明記の上，総合科学系支援室（大学院課程担当）に請求してください。

(2) 入試情報開示申請書に必要事項を記入した後，以下の書類を同封の上，4 月 1 日から 4 月 30 日までの間に，直接又は郵送で総合科学系支援室（大学院課程担当）に申請してください。

① 必要事項をすべて記入した「広島大学大学院教育人文社会科学研究科入試情報開示申請書」

② 令和９年度広島大学大学院教育人文社会科学研究科受験票（コピー不可。開示の際，同封して返却します。）

③ 返信用封筒（長形３号（12 ㎝×23.5 ㎝）に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を明記し，110 円分の切手を貼ったもの。）

なお，開示申請者が提出した申請書等に不備があるときは，修正を求めることがあります。

(3) 教育人文社会科学研究科では，入試情報開示申請書を受理した日から 30 日以内に，開示決定通知書を開示申請者本人へ送付します。（返信用封筒使用）

試験成績（個人情報）の開示に関する申請・問い合わせ先
教育人文社会科学研究科人間総合科学プログラム担当
〒739-8521　東広島市鏡山一丁目７番１号
広島大学総合科学系支援室（大学院課程担当）（TEL:082-424-6317,6316）

人間社会科学研究科人文社会科学専攻主指導教員一覧表
Graduate School of Humanities and Social Sciences
Division of Humanities and Social Sciences Lists of Academic Supervisors

人間総合科学プログラム Integrated Arts and Human Sciences Program

2026年10月1日現在 October 1, 2026

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
心身と言語研究プロジェクト Human Mind, Body, and Language Research Project	教授 坂田 桐子 Prof. SAKATA Kiriko	人間の集団内および集団間行動に関する研究 Social Psychology, Group Dynamics
	**教授 林 光緒 **Prof. HAYASHI Mitsuo	人間の睡眠と覚醒に関する研究 Sleep Psychology: Human sleep and wakefulness
	教授 関矢 寛史 Prof. SEKIYA Hiroshi	身体運動心理学 Psychology of Human Movement
	教授 長谷川 博 Prof. HASEGAWA Hiroshi	運動時における体温調節機構に関する研究 Exercise and Environmetal Physiology
	教授 柴田 美紀 Prof. SHIBATA Miki	第二言語習得, 外国語学習・教育に関する研究, World Englishes, 国際語／リンガフランカとしての英語 Second language acquisition, Research on foreign language learning/educaiton, World Englishes, English as an internationa langauge/a lingua franca
	教授 上泉 康樹 Prof. UWAIZUMI Kouki	体育哲学・スポーツ哲学（主に古代ギリシアにおけるギュムナスティケー論および運動競技論, 身体論） Philosophy of physical education and philosophy of sports (focussing on thought of physical education, sports, and body in ancient Greece)
	教授 田中 亮 Prof. TANAKA Ryo	リハビリテーション科学 Rehabilitation science
	教授 山根 典子 Prof. YAMANE Noriko	音声学, 音韻論 Phonetics, Phonology
	教授 緒形 ひとみ Prof. OGATA Hitomi	スポーツ栄養, 生体リズムに関する研究 Exercise and Nutrition, Chrono-nutrition
	教授 小川 景子 Prof. OGAWA Keiko	覚醒時と睡眠時の認知神経科学研究 Cognitive neuroscience during wakefulness and sleep
	教授 小宮 あすか Prof. KOMIYA Asuka	社会生態学的アプローチ, 感情と意思決定に関する研究 socio-ecological psychology, emotions in decision making
	准教授 樫原 潤 Assoc.Prof.KASHIHARA Jun	心理ネットワークアプローチ, 精神病理研究, スティグマ研究、臨床心理学 Psychological Network Approach, Psychopathology Research, Stigma Research, Clinical Psychological Science
	准教授 杉浦 義典 Assoc.Prof. SUGIURA Yoshinori	不安の発生と解消に関する実験臨床心理学的研究 Psychopathology and treatment of anxiety and related disorders.
	准教授 進矢 正宏 Assoc.Prof. SHINYA Masahiro	スポーツバイオメカニクス, 姿勢制御, 運動の自動計測システム Sports biomechanics″ ″Human motor control of posture and gait
	准教授 大嶋 広美 Assoc.Prof. OSHIMA Hiromi	中国語学, 音声学, 言語学 Chinese linguistics, phonology, linguistics
	准教授 CLENTON Jonathan Stuart Michael Assoc.Prof. Jonathan Stuart Michael CLENTON	応用言語学 Applied Linguistics
	***准教授 TAFERNER Robert Horst ***Assoc.Prof. Robert Horst TAFERNER	語用論, 英作文,心理言語学 Pragmatics, English Academic Writing, Psycholinguistics
	准教授 北梶 陽子 Assoc.Prof. KITAKAJI Yoko	ヒトの協力行動, シミュレーション＆ゲーミング Human Cooperation, Simulation and Gaming
	准教授 KONG GARRY Ka Fai Assoc.Prof. Ka Fai KONG GARRY	認知心理学、注意、ワーキングメモリ Cognitive Psychology, Attention, Working Memory
	助教 川上 夏林 Assist. Prof. KAWAKAMI Carine	フランス語学French Linguistics, 認知言語学Cognitive Linguistics
	助教 木場 安莉沙 Assist. Prof. KOBA Arisa	応用言語学、談話分析 Applied Linguistics, Discourse Analysis
	助教 吉本 早苗 Assist. Prof. YOSHIMOTO Sanae	知覚心理学、視覚科学、感性情報学 Perceptual Psychology, Visual Science, Kansei Information Science

【注1】*印を付した教員は, 2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; *, are retiring in March of 2027.
**印を付した教員は, 2028年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2028.
***印を付した教員は, 2029年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2029.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には, 人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that “Lists of Academic Supervisors” is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
地域と文化研究プロジェクト Area and Culture Research Project	教授　桑島　秀樹 Prof. KUWAJIMA Hideki	美学芸術学，感性哲学，感性文化史，文化創造論，風景美学， 18世紀アイルランド・イギリス思想史 Aesthetics, History of KANSEI-Culture, Landscape Aesthetics, 18th Century Irish and British History of Thought
	***教授　関村　誠 ***Prof. SEKIMURA Makoto	文化哲学，芸術哲学，感性論，古代ギリシアの思想 Philosophy of Culture, Philosophy of Art, Aesthetics, Ancient Greek Thought
	教授　荒見　泰史 Prof. ARAMI Hiroshi	中国古代文献研究，敦煌仏教文学 ancient Chinese manuscripts, Dunhuang Buddhist literature
	教授　丸田　孝志 Prof. MARUTA Takashi	近代中国における民俗の変遷と文化的国民統合 Folklore transition and Cultural National Integration in Modern China
	教授　城戸　光世 Prof. KIDO Mitsuyo	19世紀アメリカ文学および文化研究 19th Century American Literature and Culture
	教授　柳瀬　善治 Prof. YANASE Yoshiharu	日本近代文学，文学理論 japanese modern literature, literature theory
	教授　澤井　努 Prof. SAWAI Tsutomu	哲学的生命倫理学，経験的生命倫理学，生命科学・医療の倫理的・法的・社会的課題，生命倫理と宗教 Philosophical Bioethics, Empirical Bioethics, Ethical, Legal and Social Issues of Life Sciences and Healthe Care, Bioethics and Religion
	准教授 RIGSBY　Curtis Andrew Assoc.Prof. Curtis Andrew RIGSBY	日本の宗教・日本の文化，哲学，比較思想 Japanese Religion・Japanese Culture ・Comparative Thought and Philosophy
	准教授　辻　輝之 Assoc.Prof. TSUJI Teruyuki	文化人類学・社会学(宗教，移民・ディアスポラ，人種・エスニシティ)，地域研究(カリブ海地域，米国)　Anthropology/Sociology (Religion, Immigration & Diaspora, Race & Ethnicity); Area Studies (Caribbean Studies and American Studies)
	准教授　崔　真碩 Assoc.Prof. CHE Jinsoku	朝鮮文化論，朝鮮近代文学，在日朝鮮人文学 Korean culture theory, Korean modern literature, Korean resident in Japan literature
	准教授　李　郁惠 Assoc.Prof. LEE Yuhui	中国語圏の地域研究，東アジアの日本語文学 Chinese-speaking area studies,Japanese language literature in East Asia
	准教授　渡邊　誠 Assoc.Prof. WATANABE Makoto	日本古代史，東アジア交流史 Japanese ancient history,History of cultural exchange in East Asia
	准教授　春日　あゆか Assoc.Prof. KASUGA Ayuka	近代イギリス社会・文化史，環境史 British modern social and cultural history, environmental history
	***准教授　的場　いづみ ***Assoc.Prof. MATOBA Izumi	現代の文学作品・視覚作品を中心としたアメリカ文化研究 Studies in 20th and 21st Century American Literature and Visual Arts
	准教授　貝賀　早希子 Assoc.Prof. KAIGA Sakiko	近現代国際関係史，国際連盟 Modern Internatinal History, the League of Nations
	准教授　島村　修平 Assoc.Prof. SHIMAMURA　Shuhei	言語哲学，心の哲学，行為論，論理学の哲学 Philosophy of Language, Philosophy of Mind, Philosophy of Action, Philosophical Logic
	准教授　横山　尊 Assoc.Prof. YOKOYAMA Takashi	日本近現代史，知識の政治社会史，とくに優生学、禁酒運動の歴史 Modern Japanese history, the socio-political history of knowledge, with a particular focus on the history of eugenics and the temperance movement

【注1】*印を付した教員は，2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; *, are retiring in March of 2027.
**印を付した教員は，2028年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2028.
***印を付した教員は，2029年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2029.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には，人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that “Lists of Academic Supervisors” is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
文明と環境研究プロジェクト Civilization and Societal Environment Research Project	**教授　淺野　敏久 **Prof. ASANO Toshihisa	人文地理学，環境運動の地域論・場所論，エコミュージアム研究 Human Geography, Studies on Environmental movement, Eco-museology
	教授　辻　学 Prof. TSUJI Manabu	西洋文明の思想的基盤としての新約聖書研究 Study of the New Testament as basis for Western thought and civilization
	教授　長坂　格 Prof. NAGASAKA Itaru	人の移動に関する文化人類学的研究およびフィリピン地域研究 Cultural anthropology, Migration studies, Philippine Studies
	教授　青木　利夫 Prof. AOKI Toshio	メキシコの教育・文化史，ラテンアメリカ近現代史 Social History of Culture and Education in Mexico, Latin-American History
	教授　大池　真知子 Prof. OOIKE Machiko	アフリカの文学，ジェンダー学 African literature, gender studies
	教授　関　恒樹 Prof. SEKI Koki	文化人類学（途上国の社会開発，社会政策，福祉） Cultural Anthropology (Social Development, Social Policy and Welfare in Developing Countries)
	教授　杉木　恒彦 Prof. SUGIKI Tsunehiko	インド・ネパール仏教（大乗・密教）研究，比較宗教学 Indian and Nepali Buddhism (Mahayana and Vajrayana), Comparative Religion.
	教授 西　真如 Prof. NISHI Makoto	医療人類学，グローバルヘルス Medical Anthropology, Global Health
	准教授　匹田　篤 Assoc.Prof. HIKITA Atsushi	社会情報学，メディア論，博物館コミュニケーション Socio-Informatics, Media Studies, Museum Communications
	准教授　福田　恵 Assoc.Prof. FUKUDA Satoshi	農村社会学，森林と山村の社会史，農村環境社会論 Rural Sociology, Social History, Environmental Sociology
	准教授　池端　蕗子 Assoc.Prof. IKEHATA Fukiko	中東地域研究，イスラーム世界論，宗教の国際政治学 Area Studies on the Middle East, Studies on the Islamic World, Religion and International Politics
	准教授　河本　尚枝 Assoc.Prof. KAWAMOTO Naoe	留学生教育，在日外国人問題，日本語教育 Foreign minority issues, International students education, JFL (Japanese as a foreign lanuage)
	准教授　白川　俊之 Assoc.Prof. SHIRAKAWA Toshiyuki	調査計量を用いた社会的不平等の生成・維持メカニズムの研究 Methodology of quantitative social research, social stratification and social mobility
	准教授　園井　ゆり Assoc.Prof. SONOI Yuri	家族社会学，福祉社会学 The Sociology of the Family, The Sociology of Welfare
	*准教授 SCHLARB　Hans-Michael *Assoc.Prof. Hans-Michael SCHLARB	近代ドイツ文学を中心とした思想史・社会史 Modern German Literature
	准教授 中尾　麻伊香 Assoc.Prof. NAKAO Maika	科学史，核をめぐる文化 History of Science, Nuclear Culture
	准教授　中澤　聡 Assoc.Prof. NAKAZAWA Satoshi	オランダの科学技術史，治水史 History of Science, Technology and Water Management in the Netherlands
	准教授　申　在烈 Assoc.Prof. SHIN, Jaeyoul	産業・労働社会学(特に，自営業・非典型雇用，プラットフォーム労働，労働所得)，社会不平等論，社会意識・態度論， The sociology of labor market, work, and industry(with focus on self-employment/non-standard employment, platform work, labor income), The sociology of social inequality, Social consciousness and attitudes
	准教授　渠　蒙 Assoc.Prof. QU, Meng	クリエイティブ・ツーリズム、芸術祭観光、地域活性化、再生型観光、クリエイティブまちづくり、地域・島嶼研究 Creative Tourism, Art Festivals Tourism, Rural Revitalization, Regenerative Tourism, Creative Placemaking, Rural and Island Studies
	准教授　川島　尚宗 Assoc.Prof. KAWASHIMA Takamune	博物館学，先史考古学 Museology, Prehistoric Archaeology
	准教授　清水　則雄 Assoc.Prof. SHIMIZU Norio	博物館学，動物生態学，保全生物学，オオサンショウウオ，エコミュージアム Museology, Animal Ecology, Conservation Biology, Giant Salamander, Ecomuseum
	助教　ZOLLET Simona Assist. Prof. ZOLLET Simona	サステナブルな農業とフードシステム，農村社会学，地方創生 Sustainable agriculture and food systems, rural sociology, regional revitalization
	助教　JANOWSKI Ingo Michael Assist. Prof. JANOWSKI Ingo Michael	観光経営とマーケティング、消費者行動、異文化コミュニケーション Tourism management and marketing, consumer behaviour, intercultural communication

【注1】*印を付した教員は，2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; *, are retiring in March of 2027.
**印を付した教員は，2028年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2028.
***印を付した教員は，2029年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2029.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には，人間社会科学研究科ホームページに掲載します。
Note that “Lists of Academic Supervisors” is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

以下の教員は，複数のプログラムを担当しており，次表のプログラムのほかに本プログラムも担当しています。
Supervisor below in charge of plural programs takes charge of the program in the following table, including this program.

研究科 Graduate School	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
統合生命科学研究科 Graduate School of Integrated Sciences for Life	教授　山田　俊弘 Prof. YAMADA Toshihiro	生態学を基礎とした生物を保全する研究 Conservation of organisms based on ecology
	***教授　石田　敦彦 ***Prof. ISHIDA Atsuhiko	タンパク質リン酸化・脱リン酸化に関わる各種酵素・タンパク質の生化学的研究 Biochemistry on enzymes and proteins which mediate protein phosphorylation and dephosphorylation.
	教授　石原　康宏 Prof. ISHIHARA Yasuhiro	大気汚染微粒子（PM2.5）の生体影響の解明 Effects of airborne particles (PM2.5) on living organism
	*准教授　土谷　彰男 *Assoc.Prof. TSUCHIYA Akio	アマゾン熱帯林の消失による気候変化 Climate change caused by deforestation of rainforests in Amazonia
	講師　戸田　求 Lecturer TODA Motomu	森林生態系のエネルギー・炭素循環 Energy, water and carbon exchange between atmosphere and forest ecosystems
先進理工系科学研究科 Graduate School of Advanced Science and Engineering	教授　小野寺　真一 Prof. ONODERA Shinichi	地球表層物質移動論（水文地形学および生物地球化学） Hydrologic transport of earth surface materials: hydrogeomorphology and biogeochemistry
	教授　近堂　徹 Prof. KONDO Toru	インターネットアーキテクチャ，リアルタイム映像伝送技術，ネットワークセキュリティ，ネットワーク管理，遠隔機器制御，情報通信工学，統計的成長模型，教育と学習を支援する情報システム Internet architecture, real-time video transmission technology, network security, network management, remote appliance control, information communication engineering, statistical growth model, information system supporting education and learning
	教授　横山　正 Prof. YOKOYAMA Tadashi	岩石風化に関する反応と物質輸送 Reaction and transport relevant to rock weathering
	**准教授　小澤　久 **Assoc.Prof. OZAWA Hisashi	地球の気候と流体系の熱力学，非平衡系の散逸構造 Thermodynamics of the global climate and fluid systems, dissipative structures of non-equilibrium systems

【注1】*印を付した教員は，2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; *, are retiring in March of 2027.
**印を付した教員は，2028年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2028.
***印を付した教員は，2029年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; **, are retiring in March of 2029.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には，人間社会科学研究科ホームページに掲載します。
Note that “Lists of Academic Supervisors” is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.